

前期基本計画の推進および中期基本計画(素案)検討の体制図

(H25.3.22)
第7回推進会議
資料5

前期基本計画の推進(総仕上げ)

第6次高浜市総合計画推進会議

〔構成〕 中川幾郎会長、市民会議各分科会の市民リーダー（10名）、
副市長 計12名

〔役割〕 **市民会議と行政のパイプ役**

- ◇ 市民会議の進め方について協議する。
- ◇ 市民会議の各分科会の取り組み等について情報共有する。
- ◇ 市民会議の各分科会から上がってくる「目標達成に向けての取り組み成果」や「点検・確認結果」をとりまとめ、市長へ報告する。

取組成果や参加の感想等を持ち寄る

高浜市の未来を創る市民会議

〔構成〕 公募市民、市職員（※平成24年度：92名+58名=150名）

〔役割〕

【目標達成に向けた取り組み】

- ◇ “前期基本計画の総仕上げ”として、前期基本計画に掲げた目標の達成に向けた取り組み（検討・実行）を、市民と行政が協働で行う。

【点検・確認】

- ◇ 前期基本計画に掲げた14目標の達成度やアクションプランの実効性を点検・確認する。
- ◇ 中期基本計画(素案)に対して、前期基本計画の取り組み成果や課題、市民意識調査の結果等を踏まえ、市民目線で意見を述べる。

情報共有

議会

★審議会や市民会議の傍聴等

★中期基本計画(案)の審議・議決

市民

会議の傍聴
など

市民意見を
政策立案に活用

議案上程

行政

中期基本計画(素案)の検討

高浜市総合計画審議会

〔構成〕 学識経験者、市内公共的団体の
役員等 12名(予定)

〔役割〕

中期基本計画(素案)が、より良い内容となるように、意見・アイデアを述べる。

【多様な方法で市民の声を聴く】

(例)

- ◇ 市民意識調査、小・中学生アンケート
- ◇ 中間発表会(出前説明)
- ◇ パブリックコメント
- ◇ まちづくり活動における現場の声を聴く

諮問

答申

検討資料の
提示

意見・アイデア
を述べる

計画(素案)を
提示する
現場に向いて
対話する

参考意見として
活用する

市長

中期基本計画策定プロジェクト

〔構成〕 副市長、教育長、部長職、
アクションプラン所管グループ
のリーダー・担当者

- ◇ 「まちづくりの現場の声」を肌で感じ取り、市民との対話を重ねながら、中期基本計画(素案)を作成する。
- ◇ 中期基本計画(素案)の検討にあたって必要な資料をとりまとめ、提供する。
- ◇ 会議へ出席し、資料を説明する。